

製品名: CD35 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08376**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	220kDa

抗原情報

遺伝子名	
別名	complement component (3b/4b) receptor 1/2 (Knops blood group)
遺伝子 ID	1378.0
SwissProt ID	P17927/Q2VPA4
免疫原	抗血清はヒト CR1/CR1L の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 300-350 および 740-790

背景

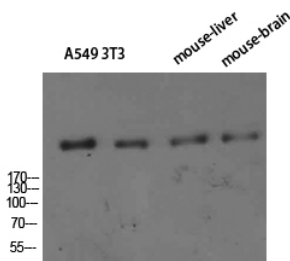
この遺伝子は補体活性化受容体 (RCA) ファミリーのメンバーであり、1 番染色体の「クラスター RCA」領域に位置しています。こ

の遺伝子は、赤血球、白血球、糸球体足細胞、および脾臓濾胞樹状細胞に存在する単量体 1 回膜貫通 1 型膜糖タンパク質をコードしています。ノブス血液型システムは、このタンパク質に位置する抗原システムです。このタンパク質は、活性化補体を持つ粒子や免疫複合体への細胞結合を媒介します。このタンパク質の発現低下および/または遺伝子の変異は、胆嚢癌、メサンギオキャピラリー糸球体腎炎、全身性エリテマトーデス、およびサルコイドーシスと関連付けられています。また、この遺伝子の変異は、熱帯熱マalaria原虫のロゼット形成の減少とも関連しており、重症マalariaに対する防御効果をもたらします。代替アレル特異的スプライスバリエント機能: 活性化補体を持つ粒子と免疫複合体の細胞内結合を媒介する。、その他: これは CR1 の F アロタイプの配列である。、オンライン情報: 血液型抗原遺伝子変異データベース,多型: CR1 には、Knops 血液型システムと呼ばれる抗原システムが含まれている。このシステム内の多型は、マalariaロゼット形成に関与している。ロゼット形成は、熱帯熱マalaria原虫 (Plasmodium falciparum) によるマalariaの主な死亡原因である脳マalariaに関連するプロセスである。一般的な Knops システム抗原には、McCoy (McC) と SI(a)/Vil (Kn4、または Swain-Langley; Vil または Villien) がある。SI(a-) 表現型は、アフリカ系の人々に多く見られ、致命的なマalariaから保護する可能性があります。、類似性: 補体活性化受容体 (RCA) ファミリーに属します。、類似性: 30 個の Sushi (CCP/SCR) ドメインが含まれます。、サブユニット: モノマー。、組織特異性: 赤血球、白血球、糸球体足細胞、および脾臓濾胞樹状細胞に存在します。、

研究分野

補体および凝固カスケード;造血細胞系統;

画像データ



CD35 ポリクローナル抗体 (1:800 希釈) を用いた A549 3T3 マウス肝細胞およびマウス脳細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。